

ふくしま 市議会 だより

Vol.213 令和4年8月1日発行

🔍 議会トピックス

- ・新たな特別委員会を設置…………… P 4
- ・議会報告会・意見交換会を開催…………… P 7
- ・全員協議会を開催…………… P 8
- ・4月15日緊急会議を開催
6月定例会議最終日追加議案審査…………… P 8

表紙写真

清水観音と参道の杉並木

町庭坂の奥に位置し、延々と続く石段の両側には見上げるばかりの杉並木がある。参道の入り口には、推定樹齢400年の市指定天然記念物の大モミの木がある。

一般質問とは？

議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。その中から質問および答弁の要旨を1件、その他の主な質問項目を3件掲載しています。

市政を問う！

一般質問Q&A

■行財政



ふるさと

寄付金の金額

川又 康彦



Q 直近3年の本市へのふるさと納税の金額と市から流出している税額は。

A 平成30年度のふるさと寄付金としての歳入は、1億955万円余り。福島市民が他市町村へ寄附を行ったことによる市民税寄付金税額控除額が2億787万円余り。

令和元年度は歳入が1億4,564万円余り、控除額が2億2,497万円余り。

令和2年度は歳入が8億1,843万円余り、控除額が2億9,864万円余り。

令和3年度は歳入が速報値で12億5,000万円余り、控除額については、現在、計数整理中。

その他の主な質問

○サル被害の軽減

○パルセイりいざかの基本利用料金と運営

○福島駅前交流・集客拠点施設の利用料金と運営

廃校の不動産の再活用



齋藤 正臣



Q 提案型民間活力導入制度の概要、売却価格の設定方法は。

A 提案型民間活力導入制度は、民間事業者などが持つ資本やノウハウ、アイデアなどの民間活力を最大限生かして、公有財産の有効活用を図るための新しい制度で、テーマを絞らず、幅広く地域振興につながるアイデアや提案をお持ちの方に、未利用公有財産を売却、または貸付する。売却価格は原則、不動産鑑定評価額に基づく価格となる。

その他の主な質問

○本市における統合型GIS整備状況

○花見山観光のおもてなしのあり方

○廃校備品販売会、図書譲渡会

■くらし・安全

地震災害対策と被災者支援



小郷 省三



Q 国の災害廃棄物処理事業における申請期限の規定は。

A 災害等廃棄物処理事業に申請期

限の規定はなく、今回の福島県沖地震では、緊急性を考え、独自に令和2年度と同様の期間を設定した。

その他の主な質問

○木造住宅耐震改修の利用促進

○生活保護法による保護と扶養義務者の扶養

○被災者生活再建支援法の支給拡大



大雪への対策

高木 直人



Q それぞれの地域で除雪作業に携われる方を明確にし、担当を決めるなど除雪計画の作成に市も積極的に関わっていくべきでは。

A 住民がお互いに助け合いながら除雪を行うため、それぞれの地域で除雪計画を策定し、降雪に備えることが円滑な除雪作業に結びつくため、地区の方々自らが作成する地区防災計画の策定支援で、除雪に関する対応も計画に盛り込むなど地区の実情に応じた助言を進める。

その他の主な質問

○福島駅東口地区市街地再開発事業の工事現場周辺の安全対策

○ノバックス製ワクチンの導入効果

○通学路の地震被害防止の安全点検

産業・経済

道の駅ふくしまの今後の事業展開



鈴木 正実



Q 今後、地域振興や農業復興などにどのように取り組むのか。

A 指定管理者である株式会社ファーマーズ・フォレストは、福島ならではの食材を使った料理メニューを開発提供しているほか、農産物出荷者の利便性に配慮した農産物集荷システムで効率的な集荷を行うとともに、着地型観光の商品開発など、商品開発力や地域振興の企画力の高さを発揮している。

今後、市内事業者との連携や地域資源を生かした新商品開発、市内観光スポットとの周遊施策など、地域振興の拠点となる一層の事業展開を期待している。

その他の主な質問

○道の駅ふくしまの地域観光振興

○道の駅ふくしまの混雑時の対応

○道の駅ふくしまから巨木を巡る史跡探訪



道の駅ふくしまを拠点とした観光

小野 京子





各議員の氏名の下にある二次元バーコードから市議会 HP の録画映像をご覧ください。
(公開期間は8月末日まで) 9月以降は会議録をご覧ください。 会議録はこちらから



2 ページの続き

Q ふくしまスカイパークとの連携策が交流人口の拡大につながるのでは。

A グランドオープンでは、ふくしまスカイパークを拠点に活動するエアレース世界王者の室屋義秀選手のエアショーや、レース機の3分の1スケールモデルの展示を行った。

今後、ふくしまスカイパークの空をテーマとしたイベントと連携を図り、冬期はスカイパークで豊富な雪を活用したかまくらづくりやファットバイク、犬ぞり試乗体験などのウィンターアクティビティ、地域資源と連携した取り組みを強化し交流人口の拡大につなげる。

その他の主な質問

- ヘルプカードによる投票支援
- おくやみ窓口の設置と周知方法
- インクルーシブ遊具を配備

福祉・健康



健都福島

山岸 清



Q 医大をはじめ、医療機関が充実しており、コロナ感染者も比較的にない傾向だがその要因は。

A 感染者が少ない要因として、1点目は、検査ができる診療・検査医

療機関が110カ所あり、検査体制が充実し、感染者の早期発見が大きくなっていること。

2点目は、感染拡大防止につなげるための積極的疫学調査を継続したこと。

3点目は、積極的疫学調査で得られた情報を分析し、効果的な広報に努めたこと。

ワクチン接種の進捗も貢献していると考えており、引き続き3回目、4回目のワクチン接種を進め、感染の抑え込みを図る。

その他の主な質問

- 遅霜対策
- いじめ対策
- 学校給食における課題



就学前の

子どもの視力

沢井 和宏



Q 就学前に目の疾病の早期発見、早期治療のため、屈折検査機器による再度のスクリーニングを行うべきでは。

A 3歳児健診の標準検査として視力検査を実施し、屈折検査機器を導入、最新機種に更新するなど、早期発見、早期治療に努めている。3歳児健診での視力検査が最も有効な検査時期であると認識しているが、その後の目の疾病や異常についても見

逃されることのないよう、保護者への注意喚起を呼びかけていく。

その他の主な質問

- 健康づくりで競争（共創）チャレンジの地域登録促進
- 学校の付帯設備の更新、改修方針
- 小水力発電参入への支援方法



国民健康保険税

村山 国子



Q 均等割は人口減少対策、子育て支援の観点から18歳以下の子供は減免すべきでは。

A 独自の取り組みとして令和3年度から18歳以下の子ども2人目からの均等割額の全額減免を実施しており、令和4年度から国が未就学児にかかる均等割額の5割を公費で軽減する措置を開始した。

子どもの軽減措置は国が必要な財源を確保したうえで制度を拡充すべきであり、引き続き国に対して要望していく。

その他の主な質問

- コロナ禍における保育所の最低基準
- 福島駅前交流・集客拠点施設におけるホール
- 市立小中学校の個人情報取り扱い



物価高騰と

市民生活



Q 10月からの75歳以上の高齢者の医療費2割負担の市民への影響は。

A 本市では被保険者の27%が該当する見込み。3年間は配慮措置が設けられるが、一定の所得がある高齢者には医療費の負担増となることから、受診控えが懸念される。

一方、制度全体として、現役世代の負担軽減と、後期高齢者医療保険料の引き下げによる被保険者の負担軽減が図られる。

その他の主な質問

- インボイス制度
- 第四種踏切廃止
- 飯坂八幡神社隣接トイレ

まちづくり



福島駅東口地区

第一種市街地

再開発事業

二階堂 武文



Q 未来のある街であるということ市外、県外に対し、積極的に発信すべきでは。



各議員の氏名の下にある二次元バーコードから市議会 HP の録画映像をご覧ください。

(公開期間は8月末日まで) 9月以降は会議録をご覧ください。

会議録はこちらから



3 ページの続き

A 今後も市長が積極的に市外、県外に赴き本市が持つ様々な可能性を強くアピールしていく。また、福島市という街が前に向いて動いていることが重要で、街のリニューアルと街なか居住を進め、進出した場合の採算性に強気になれる環境づくりを進め、本市の将来性を感じ取り積極的に本市に進出し投資する事業者を増やしていく。

その他の主な質問

- 認知症高齢者の事故やトラブル発生時の独自の救済制度
- 旧米沢街道と季平地区の歴史遺産
- 二ツ小屋隧道の土木的な歴史遺産



中心市街地の活性化

石山 波恵



Q 街なか交流館を拠点として回遊性を高めるPR強化が必要では。

A 現在、市公式YouTubeでは古閑裕而のまち・福島市と題し、福島駅前から古閑裕而ストリート、メロディーバス、古閑裕而記念館をたどる動画を配信し、街なか交流館においても公開をはじめた。

今後さらに、施設内に古閑裕而氏関連の案内チラシやパネルを設置するほか、民間のボランティア団体が、街なか交流館を拠点とした定期的な

まち歩きツアーを企画しており、連携して駅周辺の賑わい創出や回遊促進を図る。

その他の主な質問

- 中心市街地の受動喫煙防止対策
- 中心市街地の空き店舗対策
- 二十歳のチャレンジプロジェクト

教育・文化



物価、食料

高騰への対応策
おおひら ひろと
大平 洋人



Q 学校給食への影響、対応策は。

A 5月に国が公表した4月分消費者物価指数では、生鮮食品が、前年同月比約12%増となっており、学校給食用の食材、調味料などの購入価格に影響を受けている。

食材価格が高騰する現状でも、栄養バランスが取れたおいしい福島型給食の質と量を継続的に確保し、保護者の負担が増えないよう、支援策を講じていく。

その他の主な質問

- あづまエリアツーリズム推進事業
- 公立夜間中学開校までのロードマップ
- 健康づくり向上にむけたポッチャの活用

複合市民施設に関する調査特別委員会

6月16日の本会議で、これまでの調査結果に基づく委員長報告を行いました。

今後も引き続き必要な調査を継続します。

主な内容

◇議会フロアに関する細部の検討を行うとともに、実施設計の内容、およびライフサイクルコストの試算について確認し、その内容について、適正な内容であることを確認した。

◇今後は管理運営や施設の名称、もしくは愛称などについての検討が重要となるため、引き続き市民参加による十分な検討がなされることを望む。

活動状況や委員長報告の全文はこちらからご覧ください。



議会機能継続計画策定特別委員会を設置しました

6月16日の本会議で、新たに議会機能継続計画策定特別委員会が設置されました。

今後、福島市議会機能継続計画を策定するまで活動を行います。

所管事項

- 福島市議会災害対応指針改定ならびに福島市議会機能継続計画策定の件
- 福島市議会災害対策会議設置要綱改定の件
- 福島市議会議員の災害対応行動マニュアル改定の件

委員構成

委員長 穴戸 一照 副委員長 石原洋三郎
委員

佐々木 優	石山 波恵	羽田 房男
後藤 善次	白川 敏明	二階堂武文
尾形 武	山岸 清	渡辺 敏彦

常任委員会

※各常任委員会に付託された議案審査の主な内容を紹介します。

総

務

◆消防ポンプ自動車等購入の繰越

非常備消防自動車整備事業の消防ポンプ自動車等購入について、年度内の納入が困難となったため、令和5年度へ28,985,000円を繰り越す。

【非常備消防とは】消防団のこと

主な質疑と答弁

問：繰り越すこととなった要因は。

答：新型コロナウイルス感染症の影響により、海外での自動車部品の生産が停滞、また、半導体の供給不足が生じたことに伴い、さらに、騒音規制に関わる法令改正により車両の供給が安定しないなどの要因により、年度内の納入が困難となったため。



消防団車両イメージ

文

教

福

社

◆新型コロナウイルスワクチン4回目追加接種

新型コロナウイルスワクチン4回目の追加接種について、迅速かつ適切に実施するため、医療機関へのワクチン接種手技料・集団接種の医師委託費用などの事業費や予約案内業務・集団接種運営などの体制整備にかかる費用を追加する。

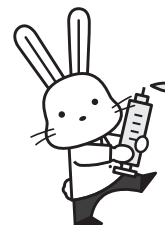
○4回目接種対象者 約157,000人

(4月末に3回目接種を完了している方)

主な質疑と答弁

問：ワクチン4回目接種期間中における1回目から3回目の接種希望者の対応は。

答：4回目接種期間中においても、1回目から3回目の接種について、引き続き体制を整えて実施していく。



経

済

民

生

◆ふくしま市民生活エールクーポン事業

コロナ禍に加えて原油価格や物価の高騰の影響を受けた市民生活の支援と、疲弊した地域経済の下支えを図るため、4,500円分のエールクーポンを3,000円で購入可能な引換券を全市民へ1セット送付する。

また、市県民税非課税世帯へは、追加で1セット送付する。

主な質疑と答弁

問：市県民税非課税世帯への引換券の送付を2回に分ける理由は。

答：課税情報を確認するには、本人の同意が必要であるため、全世帯向けの購入引換券発送時に課税情報確認にかかる同意書を同封し、同意を得られた方については、課税情報を確認後、追加分の購入引換券を発送する。

建

設

水

道

◆一部損壊住宅修理支援事業

令和4年福島県沖地震により応急修理の対象とならない一部損壊が生じた住宅に対して、日常生活に不可欠な部分を応急的に修理した場合の費用の一部を定額で補助する。

対象は以下の要件を全て満たす方

- ①地震により被害を受けた住宅に居住し、り災証明が「一部損壊」
- ②自らの資力では修理できない
- ③消費税込み20万円以上の修繕工事を実施した

主な質疑と答弁

問：支援が必要な方に行き届くような周知方法は。

答：県による新聞での広報、市ホームページ、市政だより、SNSなどを活用した周知のほか、オンライン申請での窓口相談事前予約を行っている。また、罹災証明書と合わせて送付する「被災者支援制度ガイドブック」にも当事業について記載し、その都度対応しながら、ほかに周知方法がないかも今後検討していきたい。

～議案等の審議結果～

4月15日緊急会議

各議案の概要や資料は
こちらからご覧ください。



〔市長提出議案〕

区分	件名	結果
4年度 補正予算	一般会計、下水道事業会計、公設地方卸売市場事業費特別会計	○
その他	専決処分承認	○

6月定例会議

〔市長提出議案〕

区分	件名	結果
4年度 補正予算	一般会計、水道事業会計、国民健康保険事業費特別会計	○
条例改正	市税条例等	○
	手数料条例	
	職業訓練技能センター条例	
	産業交流プラザ条例	
	国民健康保険税条例	
	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例	
	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対する国民健康保険税の減免に関する条例	
	東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例	
	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に対する介護保険料の減免に関する条例	
	清掃施設条例	
	市営住宅等条例等	
人事	副市長選任	○
	財産区管理委員選任	
工事請負契約 一部変更	瀬上小学校屋内運動場改築事業 屋内運動場建築工事	○
財産取得	高規格救急自動車	○
その他	専決処分承認	○

〔委員会、議員提出議案〕

区分	件名	結果
意見書	木材の価格安定と国産材の供給力強化等を求める意見書	○
	エネルギーとしての水素の普及促進を求める意見書	
	地方財政の充実・強化を求める意見書	
	肥料価格の高騰から農業者を守るための支援を求める意見書	
	原子力損害賠償に係る中間指針等の見直しを早急に行うよう求める意見書	
	被災児童生徒就学支援等事業の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	

〔請願・陳情〕

区分	件名	結果
請願	国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出方について	○
陳情	暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関することについて	○
	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出方について	×
	市民会館跡地への消防庁舎移転に関することについて	×



令和4年春季議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、また、市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

- 第1部 議会報告会…令和3年12月定例会議から令和4年4月15日緊急会議までの各常任委員会、特別委員会における議案審査、調査の結果について、各委員会所属議員から報告
- 第2部 意見交換会…テーマを設けず、自由に意見を交換

意見交換会でのご意見の一部

- ★生理の貧困について福島市が先駆けて取り組んでいくべきと思う。
- ★消防団のような地域住民で編成する緊急除雪隊の設置が必要ではないか。

いただいたご意見は、議員全員で共有するとともに、今後の議会活動にいかしてまいります。
参加いただいた市民の皆さま、誠にありがとうございました。

議会報告会・意見交換会の詳しい内容はこちらからご覧ください。



令和3年度政務活動費の収支実績をお知らせします

政務活動費は、福島市から各会派に対して所属議員1名あたり月額10万円が交付され、会派の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として活用し、残金が生じた場合は返還しています。

単位：円

会派名	真政会	真結の会	ふくしま市民21	公明党福島市議団	日本共産党 福島市議会議員団	耀ふくしま市議団	真の会	全体合計
議員数 (年度途中人数変更あり)	9人	9人⇒8人	6人	4人	4人	3人	0人⇒1人	35人
交付額(利子含む)	10,800,031	10,100,038	7,200,015	4,800,014	4,800,010	3,600,009	700,002	42,000,119
支出内訳	調査研究費	16,200	0	0	0	0	0	16,200
	研修費	0	16,880	0	0	0	0	16,880
	活動旅費	338,300	0	0	0	0	0	338,300
	広報費	4,599,705	5,030,717	5,463,644	3,187,052	3,269,263	2,291,850	23,842,231
	広聴費	18,720	0	0	0	0	0	18,720
	資料購入費	72,540	0	145,711	1,100	230,075	58,996	508,422
	事務費	1,899,176	1,828,925	850,345	522,456	718,476	487,544	6,370,839
支出合計	6,944,641	6,876,522	6,459,700	3,710,608	4,217,814	2,838,390	63,917	31,111,592
収支差引額 (市への返還金)	3,855,390	3,223,516	740,315	1,089,406	582,196	761,619	636,085	10,888,527

※要請・陳情活動費、会議費、資料作成費については、各会派とも支出がありませんでした。

全国市議会議長会 市議会議員表彰

全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰され、6月2日の本会議開会前に表彰状が伝達されました。

15年以上表彰	梅津 政則 議員	大平 洋人 議員	小松 良行 議員	尾形 武 議員
	半沢 正典 議員	黒沢 仁 議員		
10年以上表彰	梅津 一匡 議員	萩原 太郎 議員	阿部 亨 議員	白川 敏明 議員
	二階堂武文 議員			

全員協議会を開催しました

5月12日、市議会全員協議会を開催し、福島駅東口の再開発事業と市が再開発ビル内に整備する予定の大ホールなどの「福島駅前交流・集客拠点施設」の計画内容について説明を受け、その後質疑を行いました。

主な質疑内容

- Q：**備品の購入費の予算はどの程度と見込んでいるのか。
- A：**3～5億円程度と想定している。
- Q：**建設単価かつ資材単価は、今後ますます上がる要因の方が多く、工事費7%増とされる現状では収まりきらなくなることも想定されるが、その対応は。
- A：**有利な財政制度などをできるだけ活用して負担の縮小化を図ってまいりたい。



計画中の再開発ビル複合棟のイメージパース

速やかに予算などを審議

4月15日、緊急会議を開催し、3月16日に発生した地震被害に対応するための補正予算などの審査を行いました。

緊急会議で可決された予算による主な事業

- 被災家屋等解体処理事業
- 住宅屋根改修助成事業

また、6月定例会議最終日の16日に市当局より追加提案された緊急経済対策や降ひょう被害を受けた果樹生産者への支援などのための補正予算を速やかに審査しました。

可決された補正予算で実施される主な事業

- 第4弾市民生活エールクーポン
- ひょう害果販売促進

委員会で現地視察を実施

4月25日、建設水道常任委員会で、所管事務調査の一環として市の維持補修センターの現地視察を行いました。

市の担当者より維持補修センターで管理する除雪機械資材の台数やそれぞれの用途、班編成や作業員数などについて説明を受け、降雪時の除雪体制を確認しました。



9月定例会議開催予定(9月1日～9月22日)

日	月	火	水	木	金	土
				1 本会議 (定例日)	2	3
4	5	6	7 本会議(一般質問)	8	9	10
11 本会議 (一般質問)	12	13 常任委員会	14	15 決算特別委員会 (分科会)	16	17
18 (敬老の日)	19 決算特別委員会 (全体会・分科会)	20	21 本会議 (採決等)	22	23 (秋分の日)	24

- ◆本会議、委員会ともどなたでも傍聴いただけます。委員会の傍聴など詳しくはホームページをご覧ください。
- ◆9月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、9月2日(金)午前11時です。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776
FAX 024-534-2520
福島市議会広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>

発行：福島市議会
編集：広報委員会

